

コクサイ-MUGCTラストー

# ウinton・パフォーマンス連動 ボンドプラスファンド16-03 (豪ドル建)

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／単位型

## 交付運用報告書

作成対象期間 第9期

(2024年9月1日～2025年4月10日(償還日))

その他の記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufig.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ  
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、コクサイ-MUGCTラストーウinton・パフォーマンス連動ボンドプラスファンド16-03(豪ドル建)(以下「ファンド」といいます。)は、2025年4月10日に満期償還いたしました。

ファンドの目的は、ファンド償還時における受益証券一口当たり純資産価格について、豪ドル建て募集価格の100%を確保することを目指しつつ、中長期的にキャピタル・ゲインを追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

これまでご愛顧頂き、誠にありがとうございました。

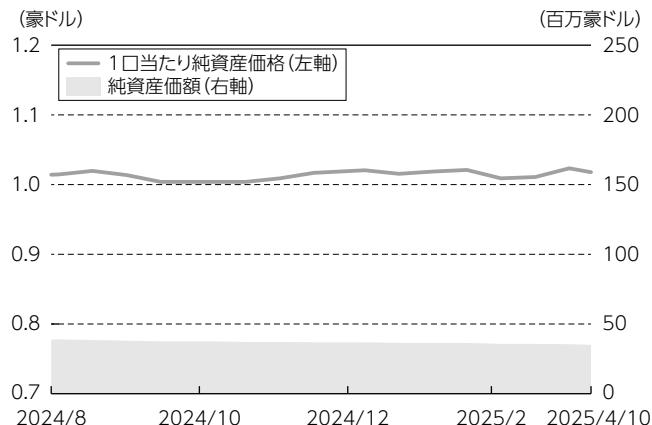
第9期末	
1口当たり純資産価格	1.0180豪ドル
純資産価額	34,970千豪ドル
第9期	
騰落率	0.36%
1口当たり分配金合計額	該当事項はありません。

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。なお、ファンドに分配金の支払実績はありません。

(注2) 第9期末の1口当たり純資産価格および純資産価額は最終公表値です。運用報告書(全体版)に記載されている財務書類では、最終買戻分を反映しているため純資産価額はゼロであり、上記とは異なります。以下同じです。

## 《運用経過》

### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第8期末の1口当たり純資産価格	
	1.0143豪ドル
第9期末の1口当たり純資産価格	
	1.0180豪ドル
第9期中の1口当たり分配金合計額	
	該当事項はありません。
騰落率	
	0.36%

\*ファンドは2016年3月29日に当初発行価格1豪ドルで設定されました。

\*ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

\*ファンドにベンチマークは設定されていません。

### ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

2024年9月1日～2025年4月10日までの期間におけるファンドの運用実績に寄与した資産

- ・Earls Eight Limitedが発行したディスカウント債(以下「ディスカウント債」といいます。)

- ・パフォーマンス・リンク・スワップ\*

※ウイントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド(以下「ウイントン社」といいます。 )が運用指図するマネージド・アカウント「dbSelect Diversified Programme (Winton)」(以下「投資先アカウント」といいます。 )のパフォーマンスに連動した投資成果を反映するスワップ取引です。

2024年9月1日～2025年4月10日までの期間におけるファンドの運用実績(ひいては、1口当たり純資産価格)に対するプラス要因

- ・ディスカウント債の価格が上昇したこと。

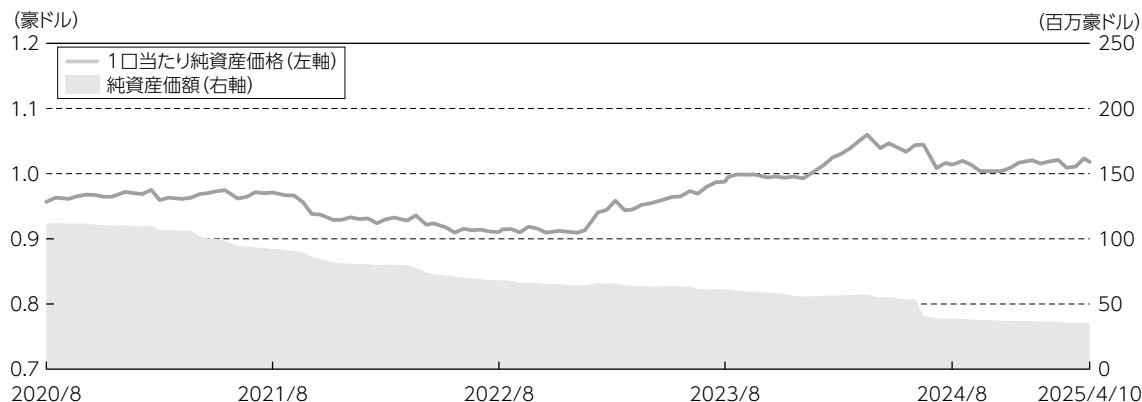
【費用の明細】

項 目	項目の概要	
管理報酬(副管理報酬を含みます。)、保管報酬、管理事務代行報酬	報酬対象額(募集価格に発行済受益証券の残存口数を乗じた金額をいいます。以下同じです。)の年率0.18%(四半期毎後払い)	管理報酬は、ファンドの資産の運用管理、受益証券の発行・買戻しの業務の対価として管理会社に支払われます(管理報酬には、副管理会社の報酬も含まれます)。保管報酬は、ファンドの資産の保管業務の対価として保管会社に支払われます。管理事務代行報酬は、ファンドの資産の管理事務代行業務の対価として管理事務代行会社に支払われます。
受託報酬	報酬対象額の年率0.03%(四半期毎後払い) (最低年間報酬5,000米ドル)	受託報酬は、ファンドの受託業務の対価として受託会社に支払われます。
投資運用報酬	報酬対象額の年率0.10%(四半期毎後払い)	投資運用報酬は、ファンドの投資運用業務の対価として投資運用会社に支払われます。
投資顧問報酬	報酬対象額の年率0.20%(四半期毎後払い)	投資顧問報酬は、ファンドの投資顧問業務の対価として投資顧問会社に支払われます。
代行協会員報酬	報酬対象額の年率0.05%(四半期毎後払い)	代行協会員報酬は、ファンドの受益証券の純資産価格の公表を行い、また目論見書、決算報告書その他の書類を販売会社に送付する等の業務の対価として代行協会員に支払われます。
販売報酬	報酬対象額の年率0.45%(四半期毎後払い)	販売会社報酬は、投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として販売会社に支払われます。
その他の費用(当期)	0.61%	専門家報酬、保管費用、償還費用、その他の報酬

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の財務書類上の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ファンドが組み入れているパフォーマンス・リンク・スワップおよびディスカウント債の費用を含みません。

# 【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第4期末 (2020年8月末日)	第5期末 (2021年8月末日)	第6期末 (2022年8月末日)	第7期末 (2023年8月末日)	第8期末 (2024年8月末日)	第9期末 (2025年4月10日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.9565	0.9712	0.9104	0.9876	1.0143	1.0180
1口当たり分配金合計額(豪ドル)	該当事項はありません。					
騰落率 (%)	－	1.54	－6.26	8.48	2.70	0.36
純資産価額 (千豪ドル)	111,664	92,275	67,999	61,069	38,850	34,970

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

# 【ポートフォリオについて】

ファンドは、以下の3つの資産から構成されています。

- ・ Earls Eight Limitedが発行した、ディスカウント債
- ・ パフォーマンス・リンク・スワップ
- ・ 現金(フリー・キャッシュ・アカウントおよびプレジッド・アカウントに配分)

ファンドは、パフォーマンス・リンク・スワップを活用することでキャピタル・ゲインの獲得を目指す一方、ディスカウント債への投資を通じて当該債券満期日におけるファンドの豪ドル建て募集価格の100%の確保を図ることにより、投資目的の達成を目指しました。

パフォーマンス・リンク・スワップは、ウィントン社が運用指図する投資先アカウントのパフォーマンスに対する投資機会を提供していました。投資先アカウントへの連動率は、29%程度から59%程度の推移となりました。

また、ファンドは、純資産額の一部をディスカウント債に投資することにより、ファンド償還時まで受益証券を保有する受益者のために豪ドルによる元本確保の達成を目指しました。

## 【投資環境について】

### マーケットレビュー

当期の海外先進国や新興国の株式市況は、トランプ米政権による関税引き上げなどの政策や一部経済指標の結果を受けて、米国の成長鈍化とインフレ加速への懸念が高まったことなどから、下落しました。日本の株式市況は下落しました。

先進国の債券市況は期間の初めから2025年1月にかけて下落し、その後は償還日にかけて上昇しました。12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)では利下げが決定されたものの追加利下げには慎重な姿勢が示されたことなどがマイナス材料となった一方、米国の景気後退を示唆する経済指標の結果などを受けて金利が低下したことがプラス材料となりました。日本の債券市況は、下落しました。新興国の債券市況は、下落しました。

原油価格は、米国の一部経済指標の結果などを受けて、米国景気が減速し原油需要が伸び悩むとの懸念が広がったことなどから下落しました。金価格は、トランプ米政権による関税引き上げなどの政策を受けて、世界経済の先行き不透明感が高まったことなどを背景に、安全資産としての需要が高まったことなどから上昇しました。

為替市場では、米ドル、ユーロは円に対して上昇しました。一方、豪ドルなどは円に対して下落しました。

### 投資先アカウントのパフォーマンスについて

投資先アカウントは、マイナスのパフォーマンスとなりました。エネルギーセクターや株価指数などがマイナスに影響しました。

### ディスカウント債のパフォーマンスについて

ディスカウント債の価格は上昇しました。

## 【分配金について】

該当事項はありません。

## 《今後の運用方針》

2025年4月10日に当ファンドは償還しました。信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

## 《お知らせ》

1口当たり償還価格は、1.0180豪ドルでした。

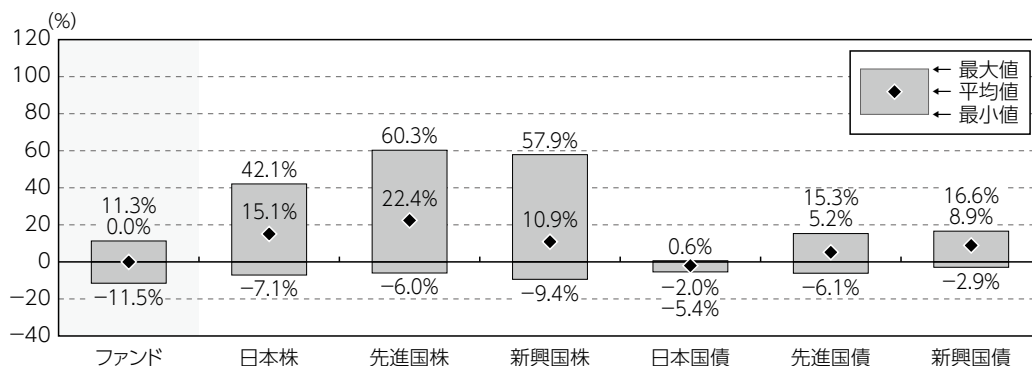
## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託
信託期間	ファンドは、2016年3月29日に運用を開始し、2025年4月10日に終了しました。
運用方針	ファンドの目的は、ファンド償還時における受益証券一口当たり純資産価格について、豪ドル建て募集価格の100%を確保することを目指しつつ、中長期的にキャピタル・ゲインを追求することです。
主要投資対象	特別目的会社であるEarls Eight Limitedにより発行されるディスカウント債およびウイントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが運用指図するマネージド・アカウントであるdbSelect Diversified Programme (Winton)
ファンドの運用方法	ファンドは、パフォーマンス・リンク・スワップを活用することでキャピタル・ゲインの獲得を目指す一方、ディスカウント債への投資を通じて当該債券満期日におけるファンドの豪ドル建て募集価格の100%の確保を図ることにより、投資目的の達成を目指します。
主な投資制限	<p>管理会社は、当ファンドのために主に以下の投資制限に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 管理会社または管理会社の取締役を相手方当事者として取引することができません。</li> <li>(ii) 管理会社または当ファンド以外のいずれかの者に利益をもたらすことを意図された取引を行いません。</li> <li>(iii) 管理会社が、管理会社または当ファンドの受益者以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等、当ファンドの受益者の保護に欠け、または当ファンドの資産の運用の適正を害する取引は禁止されています。</li> <li>(iv) 空売りされる有価証券の時価総額は、いつでも、当ファンドの直近の純資産価額を超えてはなりません。</li> </ul> <p>管理会社は、とりわけ、当ファンドの投資対象の価格の変化、再建もしくは合併、当ファンドの資産からの支払または受益証券の買戻しの結果、上記取引制限に違反しても、直ちに投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、違反が発見された後合理的な期間内に、受益者の利益を考慮しつつ、上記制限を遵守するために合理的で実施可能な手続を取ります。</p>
分配方針	原則として分配は行われない予定です。

## (参考情報)

### ● ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、2020年5月から2025年4月の5年間ににおける年間騰落率(各月の最終評価日時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



出所：管理会社、Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所外国法共同事業が作成

※ファンドの年間騰落率(各月の最終評価日時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。ただし、ファンドは分配を行わないため、分配金再投資1口当たり純資産価格の値は1口当たり純資産価格の値と同じです。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※ファンドの年間騰落率は、豪ドル建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

#### \*各資産クラスの指数

日 本 株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIXに係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)(の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

## 《ファンドデータ》

### 【ファンドの組入資産の内容】

(第9期末現在)

2025年4月10日現在、有価証券等の組入れはありません。

### 【純資産等】

項目	第9期末
純資産価額	34,969,715.08豪ドル
発行済口数	34,350,000口
1口当たり純資産価格	1.0180豪ドル

第9期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	3,950,000 (3,950,000)	34,350,000 (34,350,000)

(注1) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

(注2) 運用報告書(全体版)に記載されている財務書類では、受益証券口数は最終買戻分を反映しているため上記とは異なります。